

2014年度
関西学院大学ロースクール
B日程

一般入試（法学既修者）

刑 法 問 題

《15:30～16:50》

○開始の指示があるまで内容を見てはいけません。

【刑 法 問 題】

次の事例の問いに答えなさい（特別法違反は除く）。

某日、A 及び B は、V1 及び V2 に暴行を加えることを共謀し、まず第一現場において V1 及び V2 に対し、それぞれ顔面を殴打、腹部を膝蹴りした上、ドライバーで背中を小突くなどの暴行を加えた。これらの暴行により、V1 及び V2 は流血し、負傷した。

その後、A 及び B は、V1 及び V2 を自動車に乗せて第二現場に移動し、同所において、さらに V1 及び V2 に対し、金属製はしごや角材を投げつけるなどの暴行を加えた。なお、第二現場へ移動する際、B は X がかねてより「今度 V1 に会ったら焼きを入れてやる。見つけたら知らせてくれ。」と言っていたのを思い出し、X に対しこれから第二現場へ V1 を連れて行く旨携帯電話にて伝えていた。

X は、B から連絡を受けて第二現場に到着すると、V1 及び V2 が A 及び B の暴行により抵抗が困難であることを認識しつつ、A 及び B と共謀の上、A 及び B とともに、V1 及び V2 に対し、金属製はしごや角材で殴りつけるなどの暴行を加えた。

これら一連の暴行により、V1 は加療約 6 週間を要する傷害を、V2 は加療約 3 週間を要する傷害をそれぞれ負った。

なお、V1 及び V2 に生じた傷害結果のうち大部分は、X が加担する前の A 及び B の暴行により生じたものか、X が加担した後の暴行により生じたものか証拠上明らかでなかったが、X の暴行の方がそれ以前の A 及び B の暴行よりも激しいものであった。

X の刑責について論じなさい。